

第2510地区 第11グループ



2005~2006

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2005~06年度
国際ロータリーのテーマ

超我の奉仕



2005~06年度
国際ロータリー会長

カール・ヴィルヘルム・
ステンハマー

増田 定雄 会長テーマ 温故知新 — ロータリーに愛を —



3月22日卓話 小山 直子 氏

《第2053回例会》 第36号 4月5日(水)

本日のプログラム

会員卓話「30年に感謝をこめて」

藤田 正男 会員

★会長 増田 定雄 ★幹事 増山 正

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二丁目ビル4F TEL23-3870

きれいな環境造りを お約束する会社
貯水槽清掃、浄化槽管理・水処理機器化学工業薬品販売

DM 有限会社道南メンテナンス

〒041-0808 函館市桔梗1丁目6番16号
☎ 0138-46-5636(代)・FAX 46-5118

ビル・建物総合管理

けいひんビル管理株式会社

代表取締役 薮下 義晴
〒040-0073 函館市宮前町30番2号(セイコービル4F)
☎ 0138-41-8824(代)・FAX 41-8643

(広告掲載：薮下 義晴 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

◎3月8日出席報告

会 員	32名	出席率対象会員	32名
		出席規定免除会員	1名
		出席率規定免除会員	0名
当日出席	20名	当日欠席	12名
他クラブ出席	5名	出席合計	25名
出席率		78.10%	

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 26 - 3170 番

次回・4月12日
プログラム

「夜間例会」

ハーバービューホテル 18時30分～

3月22日の記録

◎司 会 増田 定雄 会長

◎斉 唱 我等の生業、四つのテスト

◎ゲスト 函館市議会議員 小山 直子 氏

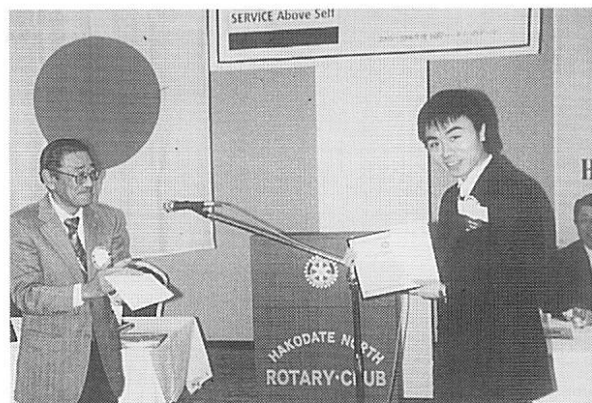
米山奨学生 馮 涛 (ファン ドウ) さん

◎会長報告 増田 定雄 会長

○米山奨学生 馮 涛 (ファン ドウ) さんへ3月分奨学金と修了証をお渡しいたします。

〈馮 涛さんよりご挨拶〉

月一回の例会に参加させて頂いてロータリアンの精神を勉強させていただきました。4月より東京で仕事をする事になりましたが、函館で学んだ知識と経験を生かして日中の友好のために働きたいと思っております。



○ロータリー米山奨学会よりカウンセラーを努められた増山会員へ感謝状が届きましたのでお渡しいたします。



◎幹事報告 増山 正 幹事

○他クラブ情報 函館R.C. 3月30日、函館五稜郭R.C. 3月31日はそれぞれ自主休会に変更です。

○3月29日の当クラブの例会は自主休会となっております。

○4月の行事予定について

第二週4月12日の例会はハーバービューホテルで夜間例会に変更になります。

第三週4月19日の例会は4月22日(土)のIM開催に合わせて開催前に変更となっております。

◎親睦活動委員会 茂木 政雄 委員長

ニコニコBOX投入報告

増田 会長……ロータリーに愛を。

増山 幹事……WBC日本優勝おめでとう。

森 会員……小山直子先生を歓迎して。
 渡部 会員…… ”
 佐々木会員……ロータリーに愛を。
 小笠原会員…… ”
 弗田 会員……WBC日本優勝おめでとう。
 藪下 会員…… ”
 柴崎 会員…… ”

◎卓話「地域の見守りで子どもたちに笑顔を」 函館市議会議員 小山 直子 氏

1. 本日はお話をさせていただく機会をいただきまして大変有難うございました。

私は、23年間小学校の教員を務めた後、3年前の統一地方選挙で初めて市議になりました。今まで小学校の仕事しか経験がなく、まだまだ幅広い議会活動は出来ていませんが、私にとって今出来ることは、キーワードは「子ども」ということで子どものことを中心に議会で質問したり活動させていただいております。

2. 水谷 修 さんのお話

夜回り先生として知られる 水谷 修 先生のお話を聞く機会が何度かありました。

水谷先生は子ども達を薬物の被害、ドラッグから救おうとして全国で講演会活動をして講演会の後は夜中にその地域の繁華街に出て子どもを薬物から守るため夜回り活動をされている方です。その水谷先生は、この函館、道南の地域をととても心配しておりました。

本町の繁華街に立つと、10分もするとシンナーの勧誘があり、30分たてば覚せい剤が手に入る、それが函館の町なんです。女の子にはあっちこっちから甘い誘いがあって、本当に危険な町だよ、そのことを皆さんご存知ですか、と言われるんです。水谷先生は、皆さんは夜回りをしないでください。夜回りをするのではなく、子ども達が夜の世界に来ないように、温かく見守り子ども達の居場所をつくってあげてください、とおっしゃいます。

3. 児童虐待で苦しむ子ども

私は教育時代、自分の教え子に児童虐待を受けている子どもがいるとは思っていませんでした。議員になった年に昔の教え子からの手紙で当時その子が虐待を受けて苦しんでいたことを知ったのです。その子は現在母親となって子育てをする立場となり、将来自分が子どもに虐待をするのではないかと、虐待の連鎖を心配して悩んでいました。

身近なところに、誰にも言えず虐待に苦しんでいる子どもや親がいることを感じてあげられる地域社会が必要です。

4. 青少年自立援助ホーム「ふくろうの家」

養育する保護者がいなかったり、虐待されるなどして家族と暮せない子ども達のために昨年の秋に北海道でははじめて青少年自立援助ホームを若松町に開設しました。殆どがボランティアで財源は青少年の自立を考える道南の会の会費で運営しております。

皆様におかれましても職場、地域のなかで子ども達を見守り支えていただきたいと心よりお願い申し上げます。